

富士見町景気動向調査報告書

～小規模事業者・中小企業者景況基本調査～

2022年（令和4年）10月から12月

- 1 調査期間 2022年10月～12月（第3四半期）
- 2 調査対象 富士見町内小規模事業者・中小企業者
- 3 回答状況

| | |
|-------|-----|
| 製造業 | 11社 |
| 建設業 | 2社 |
| 小売業 | 1社 |
| 飲食業 | 2社 |
| 観光業 | 2社 |
| サービス業 | 1社 |
| 計 | 19社 |
- 4 調査項目
 - ① 3か月前と比べて
 - ② 前年同期と比べて
 - ③ 3か月後の見通し

※ 経営者が受注額（販売額）・売上高・営業利益等から主観的に判断しています。
- 5 業況DI（Diffusion Index）とはゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表し、マイナスの値で景気の下向きを表しています。

volume 7

主管 ふじみまち産業振興センター

<概況>

3か月前と比べると全体の業況DIは-31.6ポイントであり、前回は-55.4ポイントである。これだけの下げ幅は調査開始（2021年4月）以来初めてのことである。どの業種が悪いということではなく、全業種が前回の第2四半期に比べて数値を下げている。

ロシアのウクライナ侵攻や円安による原材料の高騰が長期化して、仕入価格が上がり売上総利益を圧迫していることはどの調査機関のデータにおいても示している。また、経費となる光熱費の上昇もある。前月と比べて使用料が同じであるのに電気代が2倍近くまで上昇したと言っている事業主もいた。これは本業のもうけである営業利益を圧迫している。

前年同期比においても、全体の業況DIは+5.3ポイントであり、前回は-38.6ポイントである。母数が少なくいちがいに言えないが業種ごとに振れ幅が大きい。

観光業は+100ポイント、飲食業は+50ポイントである。その反面、建設業は-100ポイントである。観光業に関しては、経営者の眼にもあるとおり、令和3年に比べて令和4年は全国旅行支援もあり動いているようである。

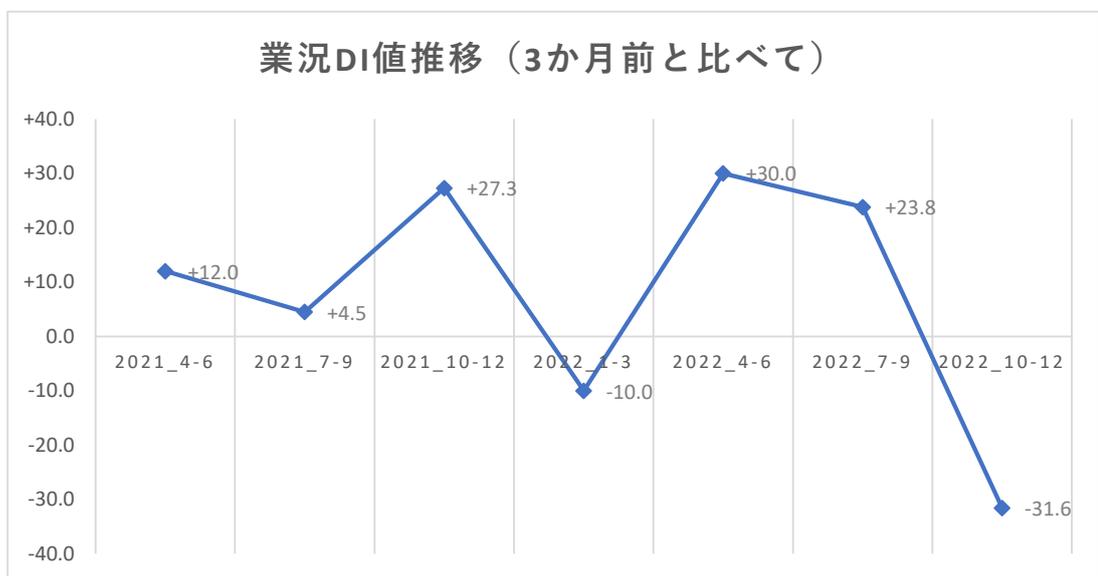
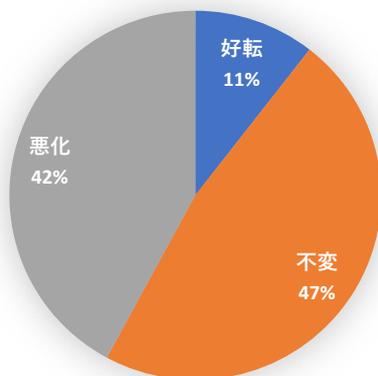
一方、建設業においては、2社とも厳しい回答である。諏訪信用金庫の調査では12月の受注工事は前年同期と比べて増加しているデータを示している。町内建設業においては、も2月・3月の公共工事は継続とあり一定の受注は確保している。

しかし、民間需要が落ち込んでおり、その影響が数値に表れている。

3か月後の見通しでも第3四半期同様に明るい兆しがなく、しばらく我慢が続くと思われる。

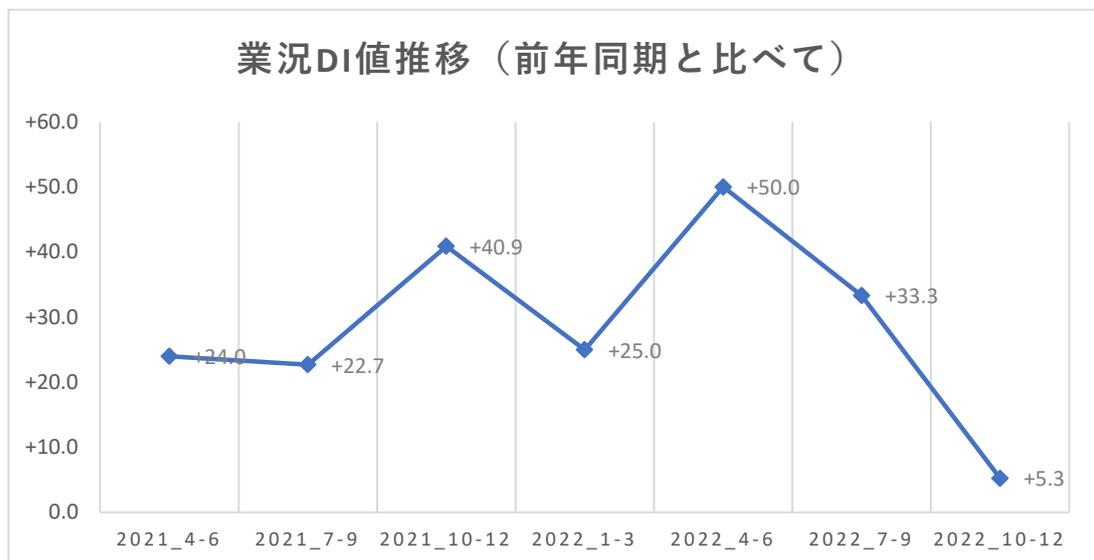
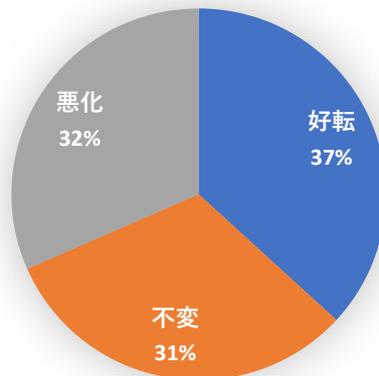
<項目1> 3か月前と比べて

| | | 好転 | 不変 | 悪化 | 計 | 業況DI | 前回調査比 |
|-------|-----|-------|--------|--------|----|--------|-------|
| 全体 | 実数 | 2 | 9 | 8 | 19 | | ↓ |
| | 構成比 | 10.5% | 47.4% | 42.1% | | -31.6 | |
| 製造業 | 実数 | 2 | 6 | 3 | 11 | | ↓ |
| | 構成比 | 18.2% | 54.5% | 27.3% | | -9.1 | |
| 建設業 | 実数 | 0 | 0 | 2 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 0.0% | 100.0% | | -100.0 | |
| 小売業 | 実数 | 0 | 0 | 1 | 1 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 0.0% | 100.0% | | -100.0 | |
| 飲食業 | 実数 | 0 | 2 | 0 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |
| 観光業 | 実数 | 0 | 0 | 2 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 0.0% | 100.0% | | -100.0 | |
| サービス業 | 実数 | 0 | 1 | 0 | 1 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |



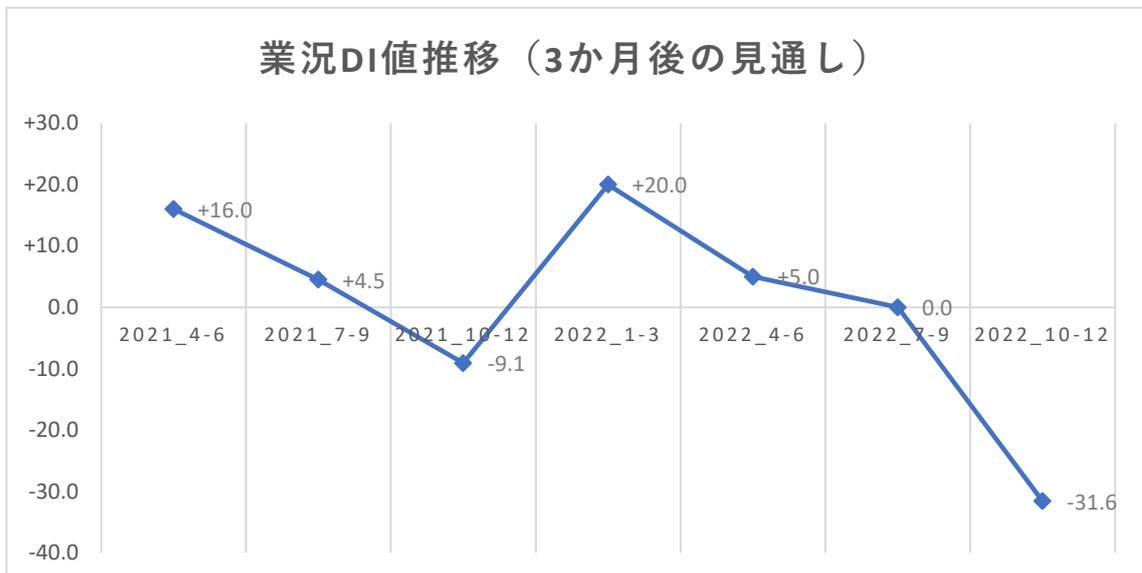
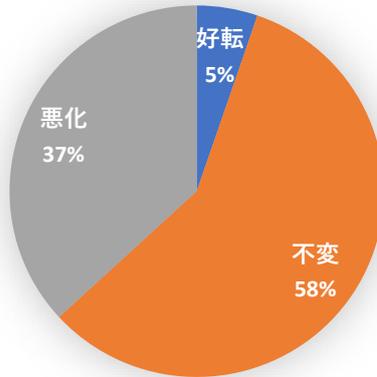
<項目2> 前年同期と比べて

| | | 好転 | 不変 | 悪化 | 計 | 業況DI | 前回調査比 |
|-------|-----|--------|--------|--------|----|--------|-------|
| 全体 | 実数 | 7 | 6 | 6 | 19 | | ↓ |
| | 構成比 | 36.8% | 31.6% | 31.6% | | +5.3 | |
| 製造業 | 実数 | 4 | 3 | 4 | 11 | | ↓ |
| | 構成比 | 36.4% | 27.3% | 36.4% | | 0.0 | |
| 建設業 | 実数 | 0 | 0 | 2 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 0.0% | 100.0% | | -100.0 | |
| 小売業 | 実数 | 0 | 1 | 0 | 1 | | → |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |
| 飲食業 | 実数 | 1 | 1 | 0 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 50.0% | 50.0% | 0.0% | | +50.0 | |
| 観光業 | 実数 | 2 | 0 | 0 | 2 | | → |
| | 構成比 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | +100.0 | |
| サービス業 | 実数 | 0 | 1 | 0 | 1 | | → |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |



<項目3> 3か月後の見通し

| | | 好転 | 不変 | 悪化 | 計 | 業況DI | 前回調査比 |
|-------|-----|-------|--------|--------|----|--------|-------|
| 全体 | 実数 | 1 | 11 | 7 | 19 | | ↓ |
| | 構成比 | 5.3% | 57.9% | 36.8% | | -31.6 | |
| 製造業 | 実数 | 0 | 7 | 4 | 11 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 63.6% | 36.4% | | -36.4 | |
| 建設業 | 実数 | 0 | 2 | 0 | 2 | | → |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |
| 小売業 | 実数 | 0 | 1 | 0 | 1 | | → |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |
| 飲食業 | 実数 | 1 | 0 | 1 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 50.0% | 0.0% | 50.0% | | 0.0 | |
| 観光業 | 実数 | 0 | 0 | 2 | 2 | | ↓ |
| | 構成比 | 0.0% | 0.0% | 100.0% | | -100.0 | |
| サービス業 | 実数 | 0 | 1 | 0 | 1 | | → |
| | 構成比 | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | 0.0 | |



<経営者の眼（見方）>

| 事業主コメント | 業種 |
|---|-----|
| 生産調整が入っている。 | 製造業 |
| 全取引先から直近の案件は少なく夏頃までは低調。その先は不明と聞いている。 | 製造業 |
| 売上高は昨年と比べてほぼ同じで推移していますが、顧客件数が大きく減少しています。 客先の仕事内容により受注の増加減がよりはっきりしてきました。 | 製造業 |
| 引き合いの件数は目に見えて減ってきている。巣ごもり需要で盛り上がったDIYが一気に反動減につながったと思われる。材木資材の仕入れ価格はピークを越え下落に転じてきたが、高値仕入の在庫が一巡する春先頃までは引き続き厳しい状況が続くと予想している。 | 建設業 |
| 売上は以前と同様、コロナの感染者数に左右される状況が続いているように感じます。 | 飲食業 |
| 車関連部品は顧客の生産調整がまだ続いている為、機械の空きがかなり出ているところがある。また中国のゼロコロナ政策による中国生産ストップの影響、半導体作り過ぎによる生産調整など国内景気の見通しも後退。 | 製造業 |
| 時季的に景気動向はあまり良くない。取引メーカーの値上げが相次いでいる。販売単価が大きくなると値上げ金額が大きくなってしまいうので、注文のタイミングを図りながら対応している。今後値下げという方向には一切ならないだろうから、販売機会を先延ばしにせず、手前に持ってくる努力が重要だと思われる。 | 小売業 |
| 観光客はR3年よりも動いていますが、コロナ対策の課題が複雑になりつつあり様々なところで負担が増しています。また、食品・光熱費等経費等コストが増えているので、どのように経費を削減するか、どのくらい値段に転嫁できるのか悩みます。 | 観光業 |
| 売り上げは順調に推移しているものの、原料や資材、光熱費が引き続き高騰しているため利益を圧迫している。 | 製造業 |
| 公共工事は2月・3月継続であります。大きな工事が4月末まであり、他の民間・個人工事も先延ばしで7月頃まで見通せます。作業員が2から3名不足です。今シーズン除雪機会が多くなると全体的にピンチです。 | 建設業 |